

# 三井倉庫株式会社



本社の移転に伴い、セキュリティを確保しつつ、  
煩雑な配線が不要な無線 LAN + シンクライアント環境へ移行  
ユーザーの快適な作業環境と、管理者の運用管理負荷の大幅削減を同時に実現

## 目的

- セキュアでレイアウト変更が容易なクライアント環境の実現

## アプローチ

- Citrix Xen Desktop
- HP t5740e Thin Client
- HP t510 Thin Client

## 導入の効果

- 無線LANでのセキュアで快適な作業環境
- 運用管理コストの大幅削減とユーザーの業務継続性の向上

## ビジネスへの効果

- パソコンのセットアップ・再インストール時間、輸送コストなどに効果が出ており、管理者の時間もコストも大幅に削減
- シンクライアントはデータが保存できないため、外部へデータを持ち出されるリスクを回避
- シームレスな移行と快適なレスポンスで、ユーザーの業務改善を実現

モノを動かす。心で動かす。



三井倉庫株式会社  
企業管理部門 情報システム部  
システムインフラ課 課長  
浜田 正志 氏



三井倉庫株式会社  
企業管理部門 情報システム部  
システムインフラ課  
宮崎 将 氏

三井倉庫は創業100年以上の歴史を持ち、倉庫を中心に幅広いロジスティクスサービスを展開する総合物流会社。多数の海外拠点を持つ、グローバル企業だ。物流業の基本である「預かる」「運ぶ」だけでなく、「創る」ことも探究し続ける、「最適物流創造企業」として個々のお客様のニーズに合った最適なロジスティクスサービスを生み出し、新しい物流のあり方、価値を提案している。ITインフラ環境を改善することで業務継続性を高め、運用管理負荷の低減を実現することは、スピードアップ、コスト削減が求められる物流業においては非常に重要だ。お客様へ新たな価値を提供し続けるため、最新の情報システムの活用が重要視されている。

## 本社移転をきっかけに クライアント仮想化環境へ 移行

クライアント環境刷新のきっかけは2011年9月の本社移転だった。

新社屋では、レイアウト変更の度に発生する煩雑な配線作業をなくしたいという要望があった。また一方で、ユーザーからは会議室でもPCを使用したいという要望があがっていた。これらの解決策として新社屋のネットワーク環境は無線LANを採用することが決定。柔軟なレイアウト変更にも迅速に対応できるファシリティを整えるとともに、ユーザーは各々の端末を持ち歩くことで、本社内のどこからでも社内ネットワークに接続することが可能となる。

しかし、端末の移動ができると、外部へデータを持ち出されてしまうリスクが発生する。セキュリティ確保のため、クライアント仮想化環境へ移行、ユーザーが使用する端末はシンクライアント化することが決定した。

クライアント仮想化はネットワーク環境に大きく依存する。無線LAN環境での導入は不安もあったが、事前に本番同様の検証環境を構築し、念入りに検証を実施。無線LAN環境でのクライアント仮想化導入に問題がないことを確認した。ユーザーが使用するシンクライアント端末は複数機種の評価を行った。無線LANクライアント証明書の導入が必須であったため、OSは

Windows Embeddedを採用。コストパフォーマンスに優れ、実績も多いHPシンクライアントを選定した。HPシンクライアントは無線LAN環境での動作が安定していたことも決め手の一つとなった。

## 運用管理者の時間もコストも 大幅に削減

クライアント仮想化による運用管理コスト削減効果は非常に大きかった。今まで、PCのセットアップには1台数時間も要していた。「月に10～20台程度発生する障害や端末入れ替え時の管理負荷は大きく、長期利用にともない故障も増えていった」と宮崎氏。クライアント仮想化によって、1台1台への再インストールや設定作業が不要となったため、1台約30分でセットアップは完了する。従来と比較すると、大幅な時間短縮だ。クライアント環境が不要になった場合も一瞬で削除でき、ディスクのクリーンアップ、再インストール等の作業を行っていた従来と比較すると大幅に改善されている。

さらに、端末をシンクライアントにすることで、端末の故障率が大幅にさがり、且つ障害時には予備機を交換するだけで仕事が再開可能となった。シンクライアント端末の初期セットアップにHP Device Managerを活用することでデスクトップへのショートカット作成、ログオンパスワードの設定などを一括で行うことができ、迅速に



配線が少なく、快適なデスク環境を実現



HP t510 Thin Client

端末を用意できるようになったという。効果は作業時間の短縮だけではない。今までは障害が発生した端末を輸送し、作業を行った後、再度送り返すというプロセスをふんでいた。クライアント仮想化によって、サーバー側のみで作業が完結し、輸送がなくなったことは大きなコスト削減だ。ユーザーにとっても、障害によるダウンタイムが短くなり、業務継続性が向上。予期せぬ障害発生時でも滞りなく業務を遂行できることは会社にとっても大きな利益となる。

## ユーザーの作業環境改善で業務効率が向上

PCからシンクライアントへ移行する際、使い勝手やパフォーマンスの変化によるユーザーへのインパクトが生じ、業務効率の低下や管理者のヘルプデスク業務の増加が懸念される。しかし、三井倉庫では、移転前に仮想デスクトップ環境に自分のデータを移行する時間が十分に設けられ、移転前から仮想デスクトップ環境に慣らすことでインパクトを最小限にした。移転と同時にシンクライアントへ一気に切り替えたが、ユー

ザーの違和感はなく、スムーズに移行が完了した。無線LAN接続も安定しており、非常に快適と評判だ。

実際に運用開始すると、使用頻度が分散するので、サーバー側で従来のPCと同等のスペックを確保しなくても十分に運用可能であり、ユーザーのパフォーマンスを落とすことなく、集約率を高くすることができたという。

また、シンクライアント化によってデスク上の省スペース化が実現し、ディスプレイを17インチから21インチに変更した。ユーザーは騒音や放熱が少なく、すっきりとしたデスク環境で、快適に業務を遂行することができている。

本社移転以降、シンクライアント端末の数は徐々に増え、現在は約450台を運用している。ネットワーク環境のさらなる改善としてHP Velocityの導入検討や、仮想化ソフトウェアのアップデート作業などにHP Device Managerの活用も視野に入れている。宮崎氏は「今後は本社以外の国内支社・支店のOA端末へシンクライアントを導入していきたい。すでに要望はあがってきている。」と今後の展望を語った。

## 三井倉庫株式会社 概要

### 所在地

東京都港区西新橋三丁目20番1号

### 創業

1909年(明治42年)10月11日

### 代表者

代表取締役社長 藤岡 圭

### 資本金

111億0,071万円(2014年3月末現在)

### 従業員数

830名

### 連結従業員数

4,292名(2014年3月末現在)

### 主な国内事業所

東京、横浜、名古屋、大阪、神戸

### 主な海外拠点

アメリカ、カナダ、チェコ、ポーランド、ベルギー、イギリス、トルコ、南アフリカ、アラブ首長国連邦、シンガポール、マレーシア、タイ、インドネシア、フィリピン、ベトナム、インド、香港、中国、台湾、韓国

### 連結子会社数

56社(国内25社、海外31社)

<http://www.mitsui-soko.co.jp>

お問い合わせはカスタマー・インフォメーションセンターへ

**03-5749-8343** 月～金 9:00～19:00 土 10:00～17:00(日、祝祭日、年末年始および5/1を除く)

HPのシンクライアント製品に関する情報は <http://www.hp.com/jp/thinclient>

本ページに記載されている情報は取材時におけるものであり、閲覧される時点で変更されている可能性があります。予めご了承下さい。

本書に含まれる技術情報は、予告なく変更されることがあります。

記載されている会社名および商品名は、各社の商標または登録商標です。

記載事項は2014年7月現在のものです。

© Copyright 2014 Hewlett-Packard Development Company, L.P.

